

職能科通信 57号

2024年2月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2571

【高次脳機能障害セミナー実務編 入院からのアプローチ ～仕事の前にやるべきこと～ 研修報告】

2023年12月9日（土）にプロミティ厚木にて上記タイトルのセミナーを開催いたしました。今年度の高次脳機能障害セミナー実務編は、入院から退院後のリハビリ訓練を経て復職された一人の患者さんのケースを取り上げ、リハビリテーション各科が行ったアプローチと復職後のインタビューについて講演いたしました。

当科では入院時の作業評価、高次脳機能障害面についての評価、復職等の希望等を伺っていき、個別の訓練を開始していきます。入院時に身体機能的には障害があまり見られず、ADL・日常生活の管理もほぼ自立されている方は、早期の復職を希望される方が多い現状があります。仕事へ戻る前に高次脳機能障害面のご自身の気づきに対するアプローチを行っていきます。入院期間の短い患者さんの場合は、生活リズムの獲得や健康管理が大切で、当院だけで支援が難しい場合は地域機関の利用、連携が欠かせないと感じています。働く前に様々な体験、対人交流の機会を通し、難しくなっている部分が何か自己の気づきが深まり、対処法を獲得し、無理なく仕事に戻っていくことができるよう支援していく事が当科の役割の一つです。復職後は、脳疲労や休日は休まないと疲れが取れないなど外見からは見えづらい部分もあり、周囲の方の理解と支援も継続して必要であると思われます。

今後も患者さんの復職や地域参加に向けて、地域支援機関の方々と連携し支援していきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



（社会福祉士 進藤育美）

【高次脳機能障害セミナー就労支援編 研修報告】

地域リハビリテーション支援センター主催の上記タイトルのセミナーを2024年1月20日（土）に藤沢商工会議所で、対面式の講習会を開催いたしました。高次脳機能障害支援普及事業の一環として実施する本研修は、高次脳機能障害者に対する就労支援のプロセスや具体的な取り組みに対しての学びを深めていただくだけでなく、地域の就労支援機関についての知識を深め、連携方法のポイントについて学んでいただく内容となっています。

今回は、湘南地域就労援助センターのセンター長である小川菜江子氏と藤沢市高次脳機能障がい者相談支援事業所チャレンジⅡの平野美夏子氏を講師にお招きして地域での役割や高次脳機能障害者の社会参加や就労支援の取り組みについてご講演いただきました。

当科は、高次脳機能障害に対する包括的な職業リハビリテーションや、両立支援制度に基づいた脳卒中の就労支援を実施しておりますので、臨床で得られた知見を基に、セミナーを通して情報共有を行っていきたいと考えております。



(作業療法士 露木拓将)

【失語症外来患者さんのオンライングループプログラム②】

当科では、失語症の外来患者さんを対象にオンラインでグループ訓練を実施しています。訓練内容としては、訓練室前廊下に掲示する「職農家たより」の作成を行っています。当初は、農園芸訓練で使用する畑や花壇を皆様に知っていただきたいという思いから始まり、野菜や花の紹介が主な内容でした。今では、上記の内容に加えて、季節や時事問題に関係することやメンバー自身の趣味・余暇活動の中で紹介したいことなどを記事にしています。

「職農家たより」の発行にむけて、週1回、メンバー内でアイディアを出し合いながら、記事内容を検討します。その後、個人作業で記事内容を作成し、担当職員が編集を行います。メンバーで最終チェックを行い、完成となります。グループ訓練に参加しているメンバーからは、「記事作成を通してパソコン作業の練習になった」「グループで話し合うことで、自分の知らない事を知る良い機会になった」と感想をいただいています。今期のメンバーは復職や新規就労等それぞれの方向性が決定し、グループ訓練は終了となりました。次回、新たなメンバーで訓練を再開できれば良いと考えております。職能科にお立ち寄りの際はぜひ一度ご覧ください。

※「失語症外来患者さんのオンライングループプログラム①」につきましては、職能科通信 50 号をご覧ください。

(社会福祉士 畠山咲)

【職員募集のお知らせ】 当院ホームページよりお申し込みください

「職業指導員（正規職員、契約職員）」

…当院入院・外来患者さんおよび障害者支援施設利用者さんへ就労支援を行います。